

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年9月4日まで（2016年11月16日設定）	
運用方針	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおいて、債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

新興国通貨建て 世界銀行債券オープン

第12期（決算日：2019年12月6日）

第13期（決算日：2020年3月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「新興国通貨建て世界銀行債券オープン」は、去る3月6日に第13期の決算を行いましたので、法令に基づいて第12期～第13期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
4期(2017年12月6日)	10,821		150	1.0	84.5	—	3,689
5期(2018年3月6日)	10,324		150	△3.2	87.0	—	2,842
6期(2018年6月6日)	9,890		150	△2.8	92.4	—	2,091
7期(2018年9月6日)	9,378		150	△3.7	94.0	—	1,347
8期(2018年12月6日)	9,505		150	3.0	91.6	—	1,102
9期(2019年3月6日)	9,627		150	2.9	88.6	—	1,561
10期(2019年6月6日)	9,139		150	△3.5	93.3	—	1,468
11期(2019年9月6日)	8,933		150	△0.6	94.0	—	1,407
12期(2019年12月6日)	9,110		150	3.7	93.2	—	1,366
13期(2020年3月6日)	8,532		150	△4.7	90.6	—	1,281

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第12期	(期 首) 2019年9月6日	8,933	—	—	94.0	—	%
	9月末	9,035	1.1	—	92.5	—	%
	10月末	9,336	4.5	—	86.8	—	%
	11月末	9,232	3.3	—	94.1	—	%
	(期 末) 2019年12月6日	9,260	3.7	—	93.2	—	%
第13期	(期 首) 2019年12月6日	9,110	—	—	93.2	—	%
	12月末	9,364	2.8	—	92.7	—	%
	2020年1月末	9,271	1.8	—	92.2	—	%
	2月末	9,023	△1.0	—	92.8	—	%
	(期 末) 2020年3月6日	8,682	△4.7	—	90.6	—	%

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第12期～第13期：2019年9月7日～2020年3月6日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第12期首	8,933円
第13期末	8,532円
既払分配金	300円
騰落率	-1.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収入を獲得したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

新興国通貨が対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第12期～第13期：2019年9月7日～2020年3月6日

投資環境について

▶ 債券市況

主要新興国の2年国債金利は低下しました。

当作成期においては、新興国債券市況を主要新興国の2年国債金利で見ると、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和的な姿勢を継続したことや一部の主要な新興国の中央銀行が政策金利を引き下げたことなどをを受けて、金利は低下しました。

トルコでは、トルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き下げたことや、大手格付け会社が経常収支の改善や成長の持続、インフレ率の鈍化等を背景に同国の格付け見通しを引き上げたことなどから、金利は大幅に低下しました。

ブラジルでは、ブラジル中央銀行が継続的に政策金利の引き下げを実施したこと

や、年金制度改革法が成立したことで財政収支の改善が期待されたことなどから、金利は低下しました。

▶ 為替市況

新興国通貨は、円に対して下落しました。

当作成期においては、新興国通貨は一部の主要な新興国の中央銀行が政策金利を引き下げたこと、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念の高まりを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、対円で下落しました。

ブラジルレアルは、ブラジル中央銀行による利下げや、同国で中南米初の新型コロナウイルス感染者が確認されたことで市場のリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション

などを総合的に勘案して行いました。
 当作成期は利回り水準が高く、バリュ
 エーション面等で魅力があると考え

インドネシアルピア建てやメキシコペソ建
 て債券などの組入比率を高めとしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
 従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第12期	第13期
	2019年9月7日～2019年12月6日	2019年12月7日～2020年3月6日
当期分配金（対基準価額比率）	150 (1.620%)	150 (1.728%)
当期の収益	140	126
当期の収益以外	9	23
翌期繰越分配対象額	908	884

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

米中通商協議の今後の動向や新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える影響については引き続き注意が必要なも

の、世界的な中央銀行の金融緩和姿勢の継続や先進国との成長率格差の拡大を背景に、2020年の新興国債券市場については底堅く推移すると見ています。その中でも構造改革の進展やファンダメンタルズの改善が見込まれる国などに対して投資妙味があると考えます。

通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行う方針です。

2019年9月7日～2020年3月6日

1万口当たりの費用明細

項目	第12期～第13期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	63	0.678	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(35)	(0.383)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	64	0.689	

作成期中の平均基準価額は、9,220円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

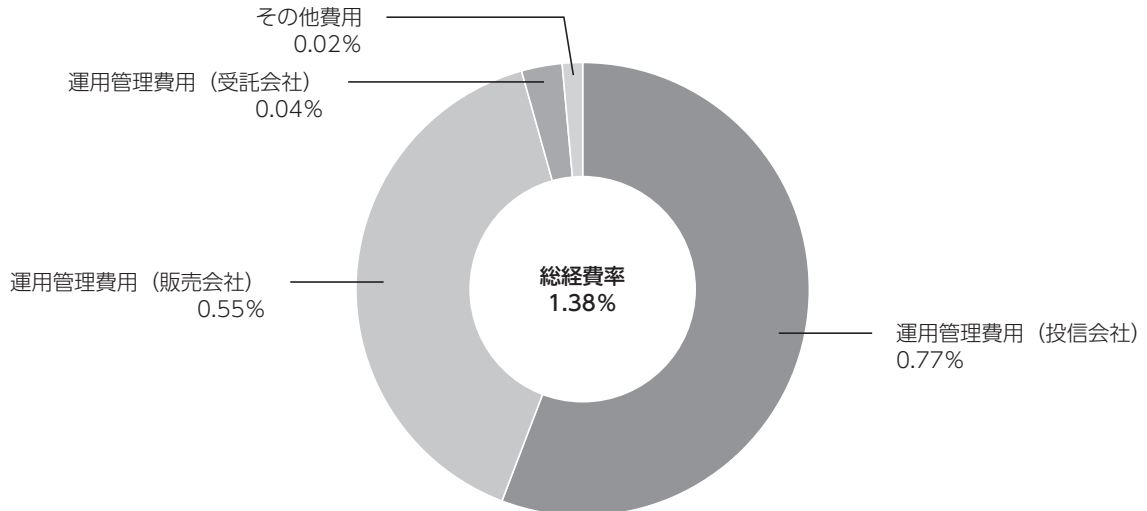
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.38%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月7日～2020年3月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第12期～第13期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 109,558	千円 123,440

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月7日～2020年3月6日)

利害関係人との取引状況

<新興国通貨建て世界銀行債券オープン>

該当事項はございません。

<新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド>

区 分	第12期～第13期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 1,361	百万円 —	% —	百万円 1,499	百万円 124	% 8.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第11期末		第13期末	
	口 数		口 数	
	千口		千口	
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	1,275,331	1,165,773	1,272,091	千円

○投資信託財産の構成

(2020年3月6日現在)

項 目	第13期末	
	評 価 額	比 率
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千円 1,272,091	% 97.2
コール・ローン等、その他	37,249	2.8
投資信託財産総額	1,309,340	100.0

(注) 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(1,251,541千円)の投資信託財産総額(1,295,300千円)に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.25円	1 メキシコペソ=5.36円	1 ブラジルレアル=23.01円	100コロンビアペソ=3.00円
1 トルコリラ=17.40円	1 ロシアルーブル=1.57円	100インドネシアルピア=0.75円	1 インドルピー=1.46円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第12期末	第13期末
	2019年12月6日現在	2020年3月6日現在
	円	円
(A) 資産	1,395,501,026	1,309,340,852
コール・ローン等	34,185,678	14,018,990
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド(評価額)	1,361,315,348	1,272,091,862
未収入金	-	23,230,000
(B) 負債	29,065,554	28,119,339
未払収益分配金	22,497,998	22,525,924
未払解約金	1,841,800	836,236
未払信託報酬	4,710,960	4,742,275
未払利息	7	18
その他未払費用	14,789	14,886
(C) 純資産総額(A-B)	1,366,435,472	1,281,221,513
元本	1,499,866,591	1,501,728,333
次期繰越損益金	△ 133,431,119	△ 220,506,820
(D) 受益権総口数	1,499,866,591口	1,501,728,333口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,110円	8,532円

○損益の状況

項 目	第12期		第13期	
	2019年9月7日～ 2019年12月6日		2019年12月7日～ 2020年3月6日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	1,640	△	640
受取利息		33		3
支払利息	△	1,673	△	643
(B) 有価証券売買損益		53,810,927	△	59,648,253
売買益		55,316,558		193,775
売買損	△	1,505,631	△	59,842,028
(C) 信託報酬等	△	4,725,749	△	4,757,161
(D) 当期損益金(A+B+C)		49,083,538	△	64,406,054
(E) 前期繰越損益金	△	175,790,585	△	148,680,219
(F) 追加信託差損益金		15,773,926		15,105,377
(配当等相当額)	(76,073,621)	(76,475,753)
(売買損益相当額)	(△	60,299,695)	(△	61,370,376)
(G) 計(D+E+F)	△	110,933,121	△	197,980,896
(H) 収益分配金	△	22,497,998	△	22,525,924
次期繰越損益金(G+H)	△	133,431,119	△	220,506,820
追加信託差損益金		15,773,926		15,105,377
(配当等相当額)	(76,095,031)	(76,506,047)
(売買損益相当額)	(△	60,321,105)	(△	61,400,670)
分配準備積立金		60,159,103		56,346,690
繰越損益金	△	209,364,148	△	291,958,887

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 1,576,120,889円

 作成期中追加設定元本額 12,488,795円

 作成期中一部解約元本額 86,881,351円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8532円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は220,506,820円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年9月7日～ 2019年12月6日	2019年12月7日～ 2020年3月6日
費用控除後の配当等収益額	21,125,959円	18,925,120円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	76,095,031円	76,506,047円
分配準備積立金額	61,531,142円	59,947,494円
当ファンドの分配対象収益額	158,752,132円	155,378,661円
1万口当たり収益分配対象額	1,058円	1,034円
1万口当たり分配金額	150円	150円
収益分配金金額	22,497,998円	22,525,924円

④「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第12期	第13期
1 万口当たり分配金（税込み）	150円	150円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

《第7期》決算日2020年3月6日

[計算期間：2019年9月7日～2020年3月6日]

「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」は、3月6日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 債券等への投資にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して選定を行います。 投資する債券の残存期間は3年未満とします。 債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。 債券等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
3期(2018年3月6日)	11,306	△1.6		88.7	—	2,787
4期(2018年9月6日)	10,651	△5.8		95.1	—	1,331
5期(2019年3月6日)	11,372	6.8		89.6	—	1,543
6期(2019年9月6日)	10,976	△3.5		94.5	—	1,399
7期(2020年3月6日)	10,912	△0.6		91.3	—	1,272

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2019年9月6日	円 10,976	% —	% 94.5	% —
9月末	11,110	1.2	93.2	—
10月末	11,497	4.7	87.7	—
11月末	11,380	3.7	94.5	—
12月末	11,750	7.1	93.2	—
2020年1月末	11,646	6.1	92.6	—
2月末	11,345	3.4	93.4	—
(期 末) 2020年3月6日	10,912	△0.6	91.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.6%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収入を獲得したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

新興国通貨が対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・主要新興国の2年国債金利は低下しました。
- ・当期においては、新興国債券市況を主要新興国の2年国債金利で見ると、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和的な姿勢を継続したことや一部の主要な新興国の中央銀行が政策金利を引き下げたことなどを受けて、金利は低下しました。
- ・トルコでは、トルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き下げたことや、大手格付け会社が経常収支の改善や成長の持続、インフレ率の鈍化等を背景に同国の格付け見通しを引き上げたことなどから、金利は大幅に低下しました。
- ・ブラジルでは、ブラジル中央銀行が継続的に政

策金利の引き下げを実施したことや、年金制度改革法が成立したことで財政収支の改善が期待されたことなどから、金利は低下しました。

◎為替市況

- ・新興国通貨は、円に対して下落しました。
 - ・当期においては、新興国通貨は一部の主要な新興国の中央銀行が政策金利を引き下げたこと、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念の高まりを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、対円で下落しました。
 - ・ブラジルレアルは、ブラジル中央銀行による利下げや、同国で中南米初の新型コロナウイルス感染者が確認されたことで市場のリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に対円で下落しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
- ・世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。
 - ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーションなどを総合的に勘案して行いました。

- ・当期は利回り水準が高く、バリュエーション面等で魅力があると考えられるインドネシアピア建てやメキシコペソ建て債券などの組入比率を高めました。

○今後の運用方針

- ・米中通商協議の今後の動向や新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に与える影響については引き続き注意が必要なものの、世界的な中央銀行の金融緩和姿勢の継続や先進国との成長率格差の拡大を背景に、2020年の新興国債券市場については底堅く推移すると見ています。その中でも構造改革の進展やファンダメンタルズの改善が見込まれる国などに対して投資妙味があると考えます。
- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年9月7日～2020年3月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.009	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、11,466円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月7日～2020年3月6日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ	千メキシコペソ
			49,303	40,995 (17,800)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル
			4,245	— (2,200)
コロンビア	特殊債券	千コロンビアペソ	千コロンビアペソ	
		603,600	756,000 (1,500,000)	
トルコ	特殊債券	千トルコリラ	千トルコリラ	
国	ロシア	特殊債券	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル
			68,680	— (65,600)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア
	—	3,319,760		
インド	特殊債券	千インドルピー	千インドルピー	
24,865	— (48,450)			

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月7日～2020年3月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,361	百万円 —	% —	百万円 1,499	百万円 124	% 8.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 35,000	千メキシコペソ 36,098	千円 193,489	% 15.2	% —	% —	% —	% 15.2
ブラジル	千ブラジルリアル 9,250	千ブラジルリアル 9,717	223,603	17.6	—	—	—	17.6
コロンビア	千コロンビアペソ 4,300,000	千コロンビアペソ 4,314,954	129,448	10.2	—	—	—	10.2
トルコ	千トルコリラ 3,150	千トルコリラ 3,146	54,746	4.3	—	—	—	4.3
ロシア	千ロシアルーブル 91,000	千ロシアルーブル 94,160	147,831	11.6	—	—	7.1	4.5
インドネシア	千インドネシアルピア 30,200,000	千インドネシアルピア 31,557,396	236,680	18.6	—	—	—	18.6
インド	千インドルピー 120,150	千インドルピー 120,037	175,254	13.8	—	—	—	13.8
合 計	—	—	1,161,054	91.3	—	—	7.1	84.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	特殊債券	7.125 IBRD 210209	7.125	1,300	1,313	7,041	2021/2/9
		8 IBRD 210701	8.0	33,700	34,785	186,448	2021/7/1
小	計					193,489	
ブラジル				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	特殊債券	11.75 IBRD 201104	11.75	1,600	1,685	38,774	2020/11/4
		7.5 IBRD 210609	7.5	7,400	7,761	178,583	2021/6/9
		8 IBRD 220131	8.0	250	271	6,244	2022/1/31
小	計					223,603	
コロンビア				千コロンビアペソ	千コロンビアペソ		
	特殊債券	4.75 IBRD 210115	4.75	4,300,000	4,314,954	129,448	2021/1/15
小	計					129,448	
トルコ				千トルコリラ	千トルコリラ		
	特殊債券	10 IBRD 200316	10.0	3,150	3,146	54,746	2020/3/16
小	計					54,746	
ロシア				千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	特殊債券	6.75 IBRD 221114	6.75	55,000	57,651	90,512	2022/11/14
		7.25 IBRD 201123	7.25	36,000	36,509	57,319	2020/11/23
小	計					147,831	
インドネシア				千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	特殊債券	8.4 IBRD 211012	8.4	30,200,000	31,557,396	236,680	2021/10/12
小	計					236,680	
インド				千インドルピー	千インドルピー		
	特殊債券	5.625 IBRD 210411	5.625	25,000	24,941	36,414	2021/4/11
		5.75 IBRD (GL) 200508	5.75	95,150	95,095	138,840	2020/5/8
小	計					175,254	
合	計					1,161,054	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年3月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,161,054	% 89.6
コール・ローン等、その他	134,246	10.4
投資信託財産総額	1,295,300	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,251,541千円) の投資信託財産総額 (1,295,300千円) に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.25円	1 メキシコペソ=5.36円	1 ブラジルレアル=23.01円	100コロンビアペソ=3.00円
1 トルコリラ=17.40円	1 ロシアルーブル=1.57円	100インドネシアルピア=0.75円	1 インドルピー=1.46円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,295,300,624
コール・ローン等	88,442,999
公社債(評価額)	1,161,054,759
未収利息	31,440,183
前払費用	14,362,683
(B) 負債	23,230,057
未払解約金	23,230,000
未払利息	57
(C) 純資産総額(A-B)	1,272,070,567
元本	1,165,773,334
次期繰越損益金	106,297,233
(D) 受益権総口数	1,165,773,334口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,912円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,275,331,696円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 109,558,362円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0912円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 新興国通貨建て世界銀行債券オープン 1,165,773,334円

[お知らせ]

運用指図権限委託先の運用チーム拡大に伴い、運用指図権限の一部が更に委託される旨を規定するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(2019年12月6日)

○損益の状況 (2019年9月7日～2020年3月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	44,492,162
受取利息	44,494,618
支払利息	△ 2,456
(B) 有価証券売買損益	△ 48,715,729
売買益	38,151,920
売買損	△ 86,867,649
(C) 保管費用等	△ 119,640
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,343,207
(E) 前期繰越損益金	124,522,078
(F) 解約差損益金	△ 13,881,638
(G) 計(D+E+F)	106,297,233
次期繰越損益金(G)	106,297,233

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。